

リストNo		07-001	施設コード	02327	
利用用途別分類（施設分類）		児童福祉施設			
施設名		浜松こども館			
所在（町名・番地）		中央区鍛冶町100-1			
利用者の圏域別分類等		市域		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	こども家庭部こども若者政策課		課長名	園田 俊士
	施設	こども家庭部こども若者政策課		課長名	園田 俊士
設置根拠（法）		—			
条例		浜松こども館条例			
設置目的		児童に健全な遊びと創造的な体験及び交流の場を提供し、もって次代を担う児童の健全な育成と子育ての支援を図る。（浜松こども館条例第1条）			
主な利用者		乳幼児・児童とその保護者など			
運営形態		指定管理者			
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/04/01 ～			
管理者名		遠鉄アシスト(株)			
開館時間		10:00 ～ 17:00			
建物情報	総延床面積	3,829.76	土地情報	土地面積	640.55
	構造（主要建物）	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	640.55
	地上階数（主要建物）	15			
	耐震性能（Is値）（主要建物）	新			
	耐震工事（主要建物）	－		うち借地面積	0.00
	建築年月日（主要建物）	2001/11/19			
	経過年数（主要建物）	22		代表地目（現況地目）	宅地
用途地域		商業地域			
区分		建設事業費（千円）	土地取得事業費（千円）	計	
設置事業費		1,025,238	2,248,000	3,273,238	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	1,025,238	2,248,000	3,273,238	
特記事項	—				



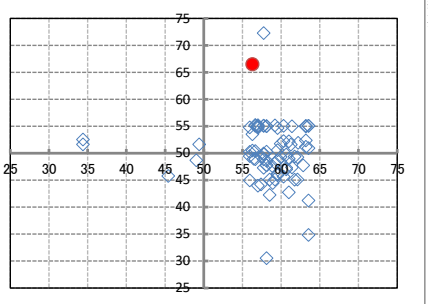
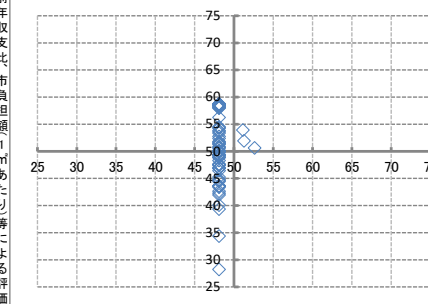
項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	26,808	22,524	15,645
	国県支出金	10,318	9,266	8,959
	その他収入	4,462	3,143	3,130
	収入計(A)	41,588	34,933	27,734
	人件費	57,848	63,491	61,449
支出(千円)	物件費(委託料)	13,568	13,476	12,898
	維持補修費(修繕費)	1,016	3,975	1,498
	物件費(光熱水費)	28,901	27,486	26,339
	物件費(借地利)	0	0	0
	支出計(B)	101,333	108,428	102,184
行政コスト(B-A)		59,745	73,495	74,450
収支前年比		81.29	98.72	103.48
(参考)指定管理料		101,707	101,314	101,321
(参考)減価償却費		32,141	32,141	32,141
利用状況	利用コマ数/年	6,320	5,705	4,618
	利用可能コマ数/年	25,445	25,390	24,881
	施設利用者数/年	242,566	194,946	139,146
	開館日数/年	352	351	298
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	240,272	899,958	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2020	令和2年度浜松こども館遊具等更新事業	161,600			
2019	令和元年度浜松こども館遊具等改修工事	69,300			
2016	浜松こども館分室移動間仕切り改修工事	4,938			
2014	改修工事	22,778			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-013	こだま放課後児童会	生活	0.6
07-070	あがたい放課後児童会	生活	1.1
07-073	中部学園放課後児童会	生活	1.2
07-006	広沢子育て支援ひろば	生活	1.3
07-007	江西児童館	生活	1.7
07-016	ふなこし放課後児童会	生活	1.9
07-004	かものこ放課後児童会	生活	2.0
07-008	さとう放課後児童会	生活	2.0
01-006	ザザシティ浜松中央館5階	市域	0.0
19-002	ザザシティ駐車場	地域	0.1
23-129	新川モールトイレ	地域	0.3
22-004	夜間救急室	市域	0.3
01-010	海老塚事務所	地域	0.4
04-014	浜松復興記念館	地域	0.4
14-029	浜松第1分団	コミュニティ	0.4
19-003	駅南地下駐車場	地域	0.5



基本情報	リストNo	07-001	施設コード	02327	所管課	本庁	子ども家庭部子ども若者政策課		
	施設名	浜松こども館			所管課	施設	子ども家庭部子ども若者政策課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	妊娠・出産を応援するための環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童に健全な遊びと創造的な体験及び交流の場を提供し、もって次代を担う児童の健全な育成と子育ての支援を図る。(浜松こども館条例第1条)							
		主な業務内容	遊び体験・もの作り体験・展示体験・子育て支援機能の提供、託児、施設貸出業務など						
		主な利用者	乳幼児・児童とその保護者など						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	毎年20万人前後の利用者があり、社会ニーズは減少していない。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	少子化が進んでおり、ニーズは今後変化していく可能性がある。							
	特記事項	中心市街地の活性化も担う施設である。							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	主催事業 ※年度により内容は異なる	2023	—	—	15,084		
				2022	—	—	11,846		
				2021	—	—	10,107		
事業②		託児事業	2023	—	—	512			
			2022	—	—	564			
			2021	—	—	327			
事業③		浜松こども館分室 施設貸出業務	2023	—	—	26,015			
			2022	—	—	21,370			
			2021	—	—	24,229			
事業④		—	2023	—	—	—			
	2022		—	—	—				
	2021		—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	施設や一部遊具の劣化。							
		日常点検等を通じ、施設や遊具の劣化を把握するとともに、計画的な修繕等により事故防止に努める。							
	対応策	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	平成18年度から指定管理者制度を導入し、管理運営を行っている。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	15,600	19,190	19,440	1人当たりのコスト(円)	246	377	535
	施設利用率(%)	24.8	22.5	18.6	1開館日当たりのコスト(円)	169,730	209,387	249,832
	1日当たり利用者(人)	689	555	467	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価								
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	各用途別により必要に応じて、1施設から2施設程度の配置を基本とします。利用状況など、将来的見通しを踏まえた上で、市域施設としての位置づけそのものを常に検討しつつ、民間への移管や、拠点的な施設として広域同様に、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も検討しつつ、最適な管理運営と長寿命化に取り組みます。						
	利用用途別分館毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—	—
民間との複合施設であり、当面適切な維持管理に努める。								

リストNo		07-003	施設コード	00047	
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設			
施設名		かみじま放課後児童会			
所在(町名・番地)		中央区上島一丁目21-1			
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当		課長名	鈴木 健一郎
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課		課長名	横井 通文
設置根拠(法)		児童福祉法			
条例		—			
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者		就労等により昼間に保護者が対応できない小学生			
運営形態		施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～			
管理者名		株式会社社明日葉			
開館時間		13:00～18:30			
建物情報	総延床面積	68.00	土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2002/11/29			
	経過年数(主要建物)	21			
用途地域		第一種住居地域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



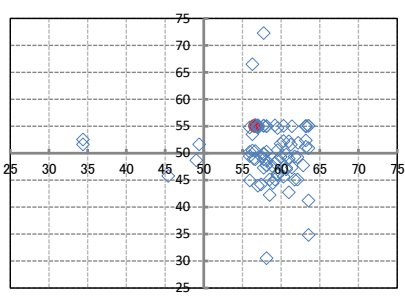
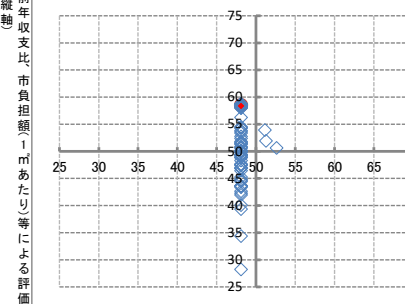
項目	2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0
	国県支出金	0	0
	その他収入	0	0
	収入計(A)	0	0
	人件費	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	80
	物件費(光熱水費)	103	102
	物件費(借地利)	0	0
	支出計(B)	103	182
行政コスト(B-A)		103	182
収支前年比		56.59	288.89
(参考)指定管理料		0	0
(参考)減価償却費		234	234
利用状況	利用コマ数/年	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—
	施設利用者数/年	—	—
	開館日数/年	—	—
	施設定員数	40	40
	図書貸出冊数/年	—	—
	蔵書数	—	—
	入居戸数	—	—
	全戸数	—	—
	クラス数	—	—
	生徒数	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)		
	土地	建物	その他
	0	5,725	—

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-014	こうま放課後児童会	生活	1.0
07-010	城北第2放課後児童会	生活	1.8
07-077	たかだい放課後児童会	生活	1.9
07-016	ふなこし放課後児童会	生活	1.9
15-017	上島小学校	生活	0.0
11-010	家内労働福祉センター	地域	0.1
14-035	浜松第9分団	コミュニティ	0.4
15-101	曳馬中学校	生活	0.7
26-008	上島雨水ポンプ場	—	0.8
03-069	金屋会館	コミュニティ	0.8
16-002	青少年の家	市域	1.0
15-103	高台中学校	生活	1.0



基本情報	リストNo	07-003	施設コード	00047	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	かみじま放課後児童会			所管課	施設	子ども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもたちが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後もニーズは高い状況にあると見込まれる							
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年生までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
						のべ募集人員	参加者数			
		事業①	放課後児童健全育成事業(かみじま第1放課後児童会)	2023	—	—	—			
2022				—	—	—				
2021				—	—	—				
事業②		—	2023	—	—	—				
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
事業③	—	2023	—	—	—					
		2022	—	—	—					
		2021	—	—	—					
事業④	—	2023	—	—	—					
		2022	—	—	—					
		2021	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021				
	行政コスト/面積(円)	1,515	2,676	926	1人当たりのコスト(円)	—	—	—				
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—				
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	2,575	4,550	1,575				
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—				
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—				
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)							
参考	利用者等の圏域毎の方向性					個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—
		2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時		—	(3)その他	—			
当面適切な維持管理に努める。※専用教室(上島小学校)。												

リストNo		07-004		施設コード		00050		
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設						
施設名		かものこ放課後児童会						
所在(町名・番地)		中央区西伊場町4-1						
利用者の圏域別分類等		生活			非中山間地域			
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設		
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			課長名	鈴木 健一郎		
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			課長名	横井 通文		
設置根拠(法)		児童福祉法						
条例		—						
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
主な利用者		就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
運営形態		施設包括管理委託						
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～						
管理者名		シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 中部第二支店						
開館時間		13:00 ～ 18:30						
建物情報	総延床面積	81.00		土地情報	土地面積	0.00		
	構造(主要建物)	軽量鉄骨造			うち所有面積	0.00		
	地上階数(主要建物)	1				うち借地面積	0.00	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新						
	耐震工事(主要建物)	-						
	建築年月日(主要建物)	2000/9/1			代表地目(現況地目)			
	経過年数(主要建物)	23						
用途地域		第一種中高層住居専用地域						
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計		
設置事業費		—		—		—		
財源	国・県	—		—		—		
	寄付金	—		—		—		
	その他	—		—		—		
	市債	—		—		—		
	一般財源	—		—		—		
特記事項	—							



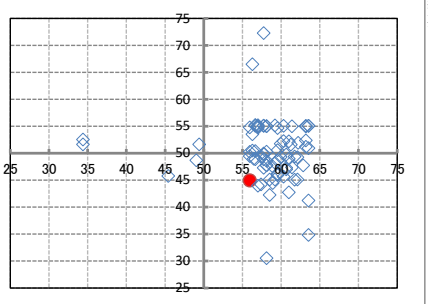
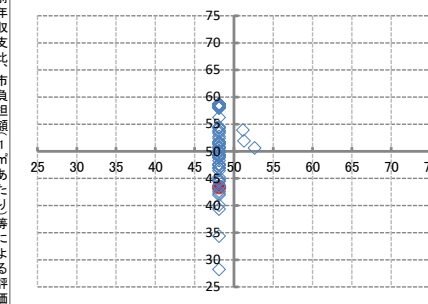
項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	14	14	66
	維持補修費(修繕費)	1,210	891	66
	物件費(光熱水費)	154	150	136
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	1,378	1,055	268
行政コスト(B-A)		1,378	1,055	268
収支前年比		130.62	393.66	171.79
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		516	516	516
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	40	40	40
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	1,710	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
	No	施設名	圏域種別	距離(km)
同分類	07-009	さなる放課後児童会	生活	1.1
	07-070	あがたい放課後児童会	生活	1.3
	07-006	広沢子育て支援ひろば	生活	1.3
	07-015	ひろさわ放課後児童会	生活	1.5
	07-073	中部学園放課後児童会	生活	1.8
	07-041	可美希望学級第2放課後児童会	生活	1.9
	07-001	浜松こども館	市域	2.0
その他の分類	15-014	鴨江小学校	生活	0.0
	11-001	子どものこころの診療所	市域	0.4
	18-066	旧保健所	地域	0.4
	24-003	鴨江雨水調整池	—	0.4
	09-002	口腔保健医療センター	市域	0.4
	09-001	保健所	市域	0.4
	15-104	西部中学校	生活	0.6
	08-002	鴨江保育園	生活	0.6

施設周辺地図情報

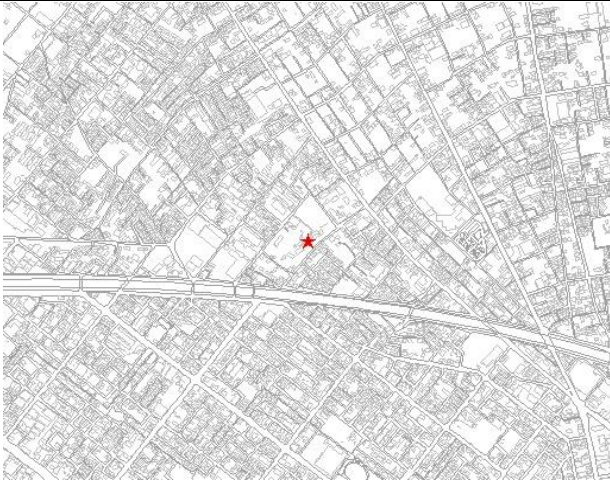
基本情報	リストNo	07-004	施設コード	00050	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	かものこ放課後児童会			所管課	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後もニーズは高い状況にあると見込まれる							
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年生までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
						のべ募集人員	参加者数			
		事業①	放課後児童健全育成事業(かものこ放課後児童会)	2023	—	—	—			
2022				—	—	—				
2021				—	—	—				
事業②		—	2023	—	—	—				
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
事業③	—	2023	—	—	—					
		2022	—	—	—					
		2021	—	—	—					
事業④	—	2023	—	—	—					
		2022	—	—	—					
		2021	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民生活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	17,012	13,025	3,309	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	34,450	26,375	6,700
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
参考	利用者等の圏域毎の方向性					個別方針	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(鴨江小学校)	
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。						
公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	

リストNo		07-005	施設コード		04969		
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設					
施設名		葵西放課後児童会					
所在(町名・番地)		中央区葵西二丁目25-2					
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域			
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当		課長名	鈴木 健一郎		
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課		課長名	横井 通文		
設置根拠(法)		児童福祉法					
条例		—					
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する					
主な利用者		就労等により屋間に保護者が対応できない小学生					
運営形態		施設包括管理委託					
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～					
管理者名		シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 中部第二支店					
開館時間		13:00 ～ 18:30					
建物情報	総延床面積	239.10	土地情報	土地面積	0.00		
	構造(主要建物)	鉄骨造		うち所有面積	0.00		
	地上階数(主要建物)	2			うち借地面積	0.00	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新					
	耐震工事(主要建物)	—					
	建築年月日(主要建物)	2005/4/1					
	経過年数(主要建物)	19		代表地目(現況地目)			
用途地域		第一種住居地域					
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)		計		
設置事業費		—	—		—		
財源	国・県	—	—		—		
	寄付金	—	—		—		
	その他	—	—		—		
	市債	—	—		—		
	一般財源	—	—		—		
特記事項	—						



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	人件費	0	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	21	21	31
	維持補修費(修繕費)	66	225	0
	物件費(光熱水費)	287	293	297
	物件費(借地利)	0	0	0
	支出計(B)	374	539	328
行政コスト(B-A)		374	539	328
収支前年比		69.39	164.33	77.18
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,164	1,164	1,164
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	80	80	80
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	17,844	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	07-079	あおぞら放課後児童会	生活		0.8	
	07-072	みかた放課後児童会	生活		1.1	
	07-017	みずほ放課後児童会	生活		1.1	
	07-049	はつおい放課後児童会	生活		1.6	
その他の分類	15-012	葵西小学校	生活		0.0	
	13-003	葵西二丁目団地	地域		0.2	
	03-068	葵西会館	コミュニティ		0.2	
	15-133	北星中学校	生活		0.5	
	13-004	高丘団地	地域		0.7	
	03-076	高丘北会館	コミュニティ		0.7	
	13-021	高丘団地再開発住宅	地域		0.7	
	08-050	三方原幼稚園	生活		0.7	
施設周辺地図情報						
						

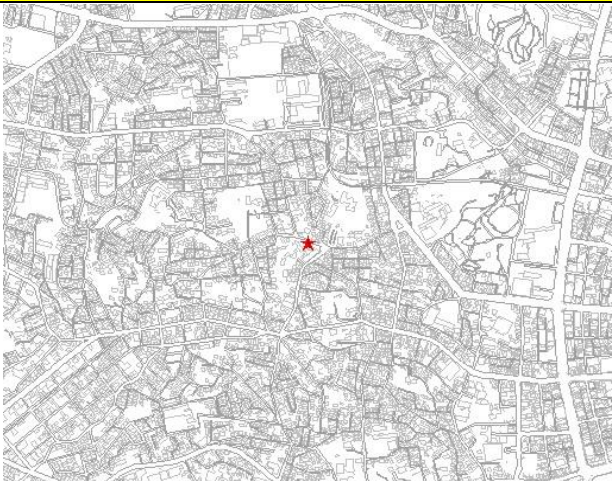
基本情報	リストNo	07-005	施設コード	04969	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	葵西放課後児童会			所管課	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもたちが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後もニーズは高い状況にあると見込まれる							
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年生までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
						のべ募集人員	参加者数			
		事業①	放課後児童健全育成事業(葵西放課後児童会)	2023	—	—	—			
2022				—	—	—				
2021				—	—	—				
事業②		—	2023	—	—	—				
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
事業③	—	2023	—	—	—					
		2022	—	—	—					
		2021	—	—	—					
事業④	—	2023	—	—	—					
		2022	—	—	—					
		2021	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民生活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	1,564	2,254	1,372	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	4,675	6,738	4,100	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)供給評価、前年収支比率等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(葵西小学校)								

リストNo		07-006	施設コード		04970	
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設				
施設名		広沢子育て支援ひろば				
所在(町名・番地)		中央区広沢三丁目11-9				
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域		
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設
所管課	本庁	こども家庭部子育て支援課			課長名	小山 東男
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			課長名	横井 通文
設置根拠(法)		—				
条例		—				
設置目的		遊び場の提供、育児相談、子育て情報の提供、親子の交流を目的とする。				
主な利用者		0歳から3歳までの乳幼児とその保護者、小学校6年生までの児童				
運営形態		施設包括管理委託				
指定管理または包括管理委託等の期間		～				
管理者名		—				
開館時間		8:30 ～ 17:00				
建物情報	総延床面積	102.12		土地情報	土地面積	594.97
	構造(主要建物)	鉄骨造			うち所有面積	594.97
	地上階数(主要建物)	1				
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	-			うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2005/4/1				
	経過年数(主要建物)	19			代表地目(現況地目)	宅地
用途地域		第一種中高層住居専用地域				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		—		—		—
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	—		—		—
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	0	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	20	34	23
	維持補修費（修繕費）	19	248	0
	物件費（光熱水費）	197	252	199
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	236	534	222
行政コスト（B－A）		236	534	222
収支前年比		44.19	240.54	36.57
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		437	437	437
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	9,819	11,033	10,303
	開館日数/年	288	288	290
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産（千円）			
	土地	建物		その他
	48,527	6,696		—

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	07-073	中部学園放課後児童会	生活		0.5	
	07-015	ひろさわ放課後児童会	生活		0.7	
	07-004	かものこ放課後児童会	生活		1.3	
	07-001	浜松こども館	市域		1.3	
	07-070	あがたい放課後児童会	生活		1.5	
	07-013	こだま放課後児童会	生活		1.9	
	07-010	城北第2放課後児童会	生活		1.9	
その他の分類	15-100	浜松中部学園(中部小学校・中学校)	生活		0.4	
	03-025	西部協働センター	生活		0.4	
	15-146	市立高等学校	市域		0.4	
	04-009	美術館	市域		0.5	
	13-006	鹿谷(市立東)団地	地域		0.6	
	04-001	浜松城公園天守閣	広域		0.6	
	04-015	茶室「松韻亭」	地域		0.6	
	13-018	蜷塚団地	地域		0.7	
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	07-006	施設コード	04970	所管課	本庁	こども家庭部子育て支援課			
	施設名	広沢子育て支援ひろば				施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境作り、子どもとその家族に対する相談援助								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		遊び場の提供、育児相談、子育て情報の提供、親子の交流を目的とする。								
		主な業務内容	施設内のおもちゃを使って遊ぶ自由来館施設							
		主な利用者	0歳から3歳までの乳幼児とその保護者、小学校6年生までの児童							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者はある							
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	少子化に伴う対象者数の減少							
	特記事項	(特非)浜松子育てネットワークびっぴへの委託								
	主な事業		事業名・開催回数(2023)				年度	事業費(千円)	実施状況	
									のべ募集人員	参加者数
		事業①	子育て支援(288回)			2023	—	—	9,819	
						2022	—	—	11,033	
						2021	—	—	10,303	
事業②		—			2023	—	—	—		
					2022	—	—	—		
					2021	—	—	—		
事業③		—			2023	—	—	—		
					2022	—	—	—		
					2021	—	—	—		
事業④		—			2023	—	—	—		
					2022	—	—	—		
			2021	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	施設の経年劣化とその対応。施設需要に対する駐車場の不足。								
	対応策	日常点検等を通じ劣化度の把握に努め、必要な修繕を実施していく。敷地の有効利用の検討による駐車台数の増。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
		複合化	—	—	—	—				
		広域化	—	—	—	—				
民活導入	—									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	2,311	5,229	2,174	1人当たりのコスト(円)	24	48	22
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	819	1,854	766
	1日当たり利用者(人)	34	38	36	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
(縦軸) 利用状況、前年収支比率等による評価 ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					(縦軸) 前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価 		
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)		利用状況等による評価(横軸)				

参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。					
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。					

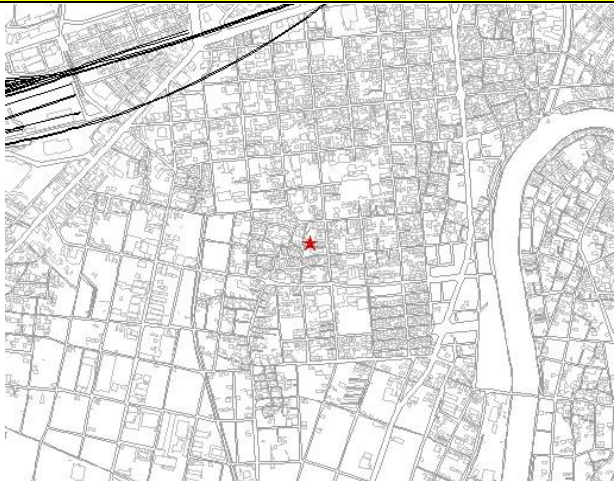
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—

当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。

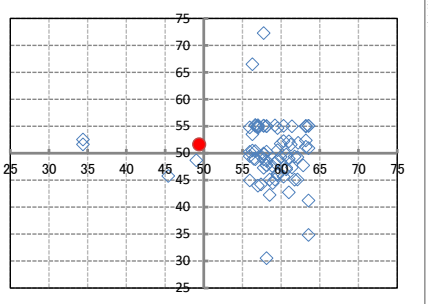
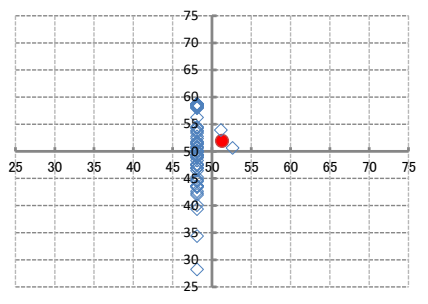
リストNo		07-007		施設コード		00772	
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設					
施設名		江西児童館					
所在(町名・番地)		中央区春日町41-1					
利用者の圏域別分類等		生活			非中山間地域		
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	こども家庭部子育て支援課			課長名	小山 東男	
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			課長名	横井 通文	
設置根拠(法)		児童福祉法					
条例		浜松市児童館条例					
設置目的		児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。					
主な利用者		0歳児から18歳未満の乳幼児・児童および付き添いの保護者					
運営形態		直営					
指定管理または 包括管理委託等の期間		～					
管理者名		—					
開館時間		9:00 ～ 17:00					
建物情報	総延床面積	217.49		土地情報	土地面積		642.87
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			うち所有面積		642.87
	地上階数(主要建物)	1			うち借地面積		0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新					
	耐震工事(主要建物)	—					
	建築年月日(主要建物)	1982/4/1					
	経過年数(主要建物)	42			代表地目(現況地目)		官公庁用地
用途地域		第一種住居地域					
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計	
設置事業費		—		—		—	
財源	国・県	—		—		—	
	寄付金	—		—		—	
	その他	—		—		—	
	市債	—		—		—	
	一般財源	—		—		—	
特記事項	—						



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	9,200	10,000	10,000
	物件費(委託料)	192	204	147
	維持補修費(修繕費)	578	132	52
	物件費(光熱水費)	494	602	514
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	10,464	10,938	10,713
行政コスト(B-A)		10,464	10,938	10,713
収支前年比		95.67	102.10	100.73
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		871	871	871
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	2,627	2,784	1,959
	開館日数/年	289	293	293
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	35,547	3,880	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	07-070	あがたい放課後児童会	生活		1.0	
	07-013	こだま放課後児童会	生活		1.3	
	07-001	浜松こども館	市域		1.7	
その他の分類	03-080	江西会館	コミュニティ		0.0	
	13-020	春日団地改良住宅	地域		0.1	
	15-098	江西中学校	生活		0.2	
	15-021	浅間小学校	生活		0.3	
	08-004	江西保育園	生活		0.4	
	14-038	浜松第12分団	コミュニティ		0.5	
	14-003	南消防署	地域		0.6	
14-004	消防車両整備工場	地域		0.6		
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	07-007	施設コード	00772	所管課	本庁	こども家庭部子育て支援課		
	施設名	江西児童館			所管課	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	2	再任用(人)	1		
	複合施設	江西会館							
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり、子どもとその家庭に対する相談援助							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。							
		主な業務内容	児童館の遊具をつかって遊ぶ自由来館施設						
		主な利用者	0歳児から18歳未満の乳幼児・児童および付き添いの保護者						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者がある						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	少子化に伴う対象者数の減少						
	特記事項	—							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況		
							のべ募集人員	参加者数	
		事業①	けん玉教室・卓球教室・マジックショー・乳幼児教室・絵手紙教室・一輪車教室・大道芸	2023	56	134	134		
				2022	56	100	100		
				2021	28	40	40		
		事業②	児童館の遊具や隣接する春日児童遊園を利用して季節や天候に合わせた遊びの提供を行う。(事業①利用者を含む)	2023	—	—	2,627		
			2022	—	—	2,784			
			2021	—	—	1,959			
事業③		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
		2021	—	—	—				
事業④	—	2023	—	—	—				
		2022	—	—	—				
		2021	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	併設の江西会館(昭和38年開設・昭和57年改築)とともに施設の老朽化とその対応。駐車場の不足。							
		日常点検を通じ老朽化度の把握に努め、必要な修繕をしていく。敷地の有効利用の検討による駐車台数の増。							
	対応策	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	○	他の施設との複合化を将来的に検討していく。			
	広域化	—	—	—	—				
民生活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	48,113	50,292	49,257	1人当たりのコスト(円)	3,983	3,929	5,469	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	36,208	37,331	36,563	
	1日当たり利用者(人)	9	10	7	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
（縦軸）利用状況、前年収支比率等による評価					（縦軸）前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建築物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	当面適切な維持管理に努める。更新時には近隣施設との複合化も検討する。								

リストNo		07-008	施設コード		00895	
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設				
施設名		さとう放課後児童会				
所在(町名・番地)		中央区佐藤二丁目32-1				
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域		
財産区分		行政財産	公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当		課長名	鈴木 健一郎	
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課		課長名	横井 通文	
設置根拠(法)		児童福祉法				
条例		—				
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する				
主な利用者		就労等により屋間に保護者が対応できない小学生				
運営形態		施設包括管理委託				
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～				
管理者名		シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 中部第二支店				
開館時間		13:00～18:30				
建物情報	総延床面積	72.00		土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	2				
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	-			うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2006/9/1				
	経過年数(主要建物)	17				
用途地域		第二種住居地域				
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)		計	
設置事業費		—	—		—	
財源	国・県	—	—		—	
	寄付金	—	—		—	
	その他	—	—		—	
	市債	—	—		—	
	一般財源	—	—		—	
特記事項	—					



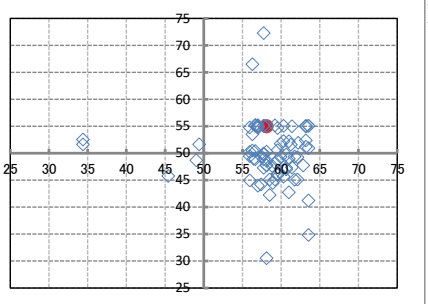
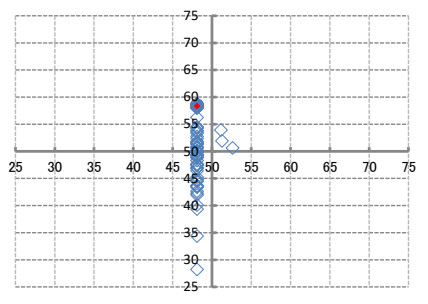
項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	人件費	0	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	89	58	0
	物件費(光熱水費)	80	80	53
	物件費(借地利)	0	0	0
	支出計(B)	169	138	53
行政コスト(B-A)		169	138	53
収支前年比		122.46	260.38	47.32
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		293	293	293
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	43	43	43
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	8,340	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	07-075	さとう第2放課後児童会	生活	0.0
	07-016	ふなこし放課後児童会	生活	0.7
	07-027	ボブラの子放課後児童会	生活	0.9
	07-011	若竹第2放課後児童会	生活	1.6
	07-014	こうま放課後児童会	生活	1.6
	07-001	浜松こども館	市域	2.0
その他の分類	15-003	佐藤小学校	生活	0.0
	26-003	北ポンプ場	—	0.3
	14-041	浜松第14分団	コミュニティ	0.3
	03-003	勤労青少年ホーム(アイミティ浜松)	市域	0.5
	15-005	船越小学校	生活	0.5
	14-007	中消防署相生出張所・浜松第7分団	地域	0.6
	24-002	茄子湯水機場	—	0.7
	13-022	富吉団地改良住宅	地域	0.8



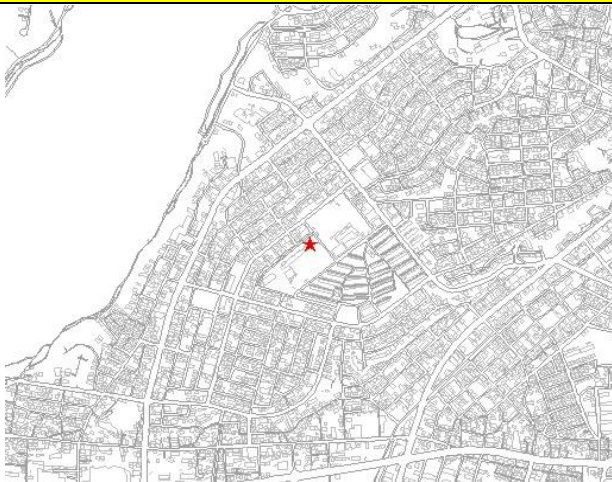
基本情報	リストNo	07-008	施設コード	00895	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	さとう放課後児童会			所管課	施設	子ども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後もニーズは高い状況にあると見込まれる							
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年生までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
						のべ募集人員	参加者数			
		事業①	放課後児童健全育成事業(さとう放課後児童会)	2023	—	—	—			
				2022	—	—	—			
				2021	—	—	—			
事業②		—	2023	—	—	—				
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
事業③		—	2023	—	—	—				
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
事業④		—	2023	—	—	—				
	2022		—	—	—					
	2021		—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	2,347	1,917	736	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	3,930	3,209	1,233
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
参考	利用者の圏域毎の方向性	（縦軸）利用状況、前年収支比率等による評価		（縦軸）前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
								
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用用途別分類毎の方向性	利用用途別分類毎の方向性						
		浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
	当面適切な維持管理に努める。※専用教室(佐藤小学校)							

リストNo		07-009	施設コード	04971		
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設				
施設名		さなる放課後児童会				
所在(町名・番地)		中央区佐鳴台三丁目31-3				
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域		
財産区分		行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当		課長名	鈴木 健一郎	
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課		課長名	横井 通文	
設置根拠(法)		児童福祉法				
条例		—				
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する				
主な利用者		就労等により屋間に保護者が対応できない小学生				
運営形態		施設包括管理委託				
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～				
管理者名		シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 中部第二支店				
開館時間		13:00 ～ 18:30				
建物情報	総延床面積	275.40	土地情報	土地面積	0.00	
	構造(主要建物)	鉄骨造		うち所有面積	0.00	
	地上階数(主要建物)	2			うち借地面積	0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	2007/3/26				
	経過年数(主要建物)	17		代表地目(現況地目)		
用途地域		第一種中高層住居専用地域				
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計		
設置事業費		—	—	—		
財源	国・県	—	—	—		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
	一般財源	—	—	—		
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	0	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	21	21	31
	維持補修費（修繕費）	422	18	54
	物件費（光熱水費）	243	290	232
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	686	329	317
行政コスト（B－A）		686	329	317
収支前年比		208.51	103.79	86.14
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		1,587	1,587	1,587
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	80	80	80
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	25,925	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2006	放課後児童会整備工事(建築工事)	46,489			
	2006	放課後児童会整備工事(機械設備工事)	12,390			
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
	07-004	かものご放課後児童会	生活	1.1		
	07-033	めだか放課後児童会	生活	1.3		
	07-032	どんぐり第2放課後児童会	生活	1.8		
	07-041	可美希望学級第2放課後児童会	生活	1.8		
	07-015	ひろさわ放課後児童会	生活	1.9		
その他の分類	15-016	佐鳴台小学校	生活	0.1		
	15-099	佐鳴台中学校	生活	0.1		
	08-005	佐鳴台保育園	生活	0.2		
	03-026	佐鳴台協働センター	生活	0.3		
	26-007	御前谷ポンプ場	—	0.5		
	16-001	看護専門学校	市域	0.9		
	04-010	博物館	市域	0.9		
	04-034	蜷塚遺跡	文化財	0.9		
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	07-009	施設コード	04971	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	さなる放課後児童会			所管課	施設	子ども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後もニーズは高い状況にあると見込まれる							
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年生までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
						のべ募集人員	参加者数			
		事業①	放課後児童健全育成事業(さなる放課後児童会)	2023	—	—	—			
				2022	—	—	—			
				2021	—	—	—			
事業②		—	2023	—	—	—				
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
事業③	—	2023	—	—	—					
		2022	—	—	—					
		2021	—	—	—					
事業④	—	2023	—	—	—					
		2022	—	—	—					
		2021	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民生活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	2,491	1,195	1,151	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	8,575	4,113	3,963	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(佐鳴台小学校)									

リストNo		07-010	施設コード		01408	
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設				
施設名		城北第2放課後児童会				
所在(町名・番地)		中央区住吉一丁目23-1				
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域		
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当		課長名	鈴木 健一郎	
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課		課長名	横井 通文	
設置根拠(法)		児童福祉法				
条例		—				
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する				
主な利用者		就労等により屋間に保護者が対応できない小学生				
運営形態		施設包括管理委託				
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～				
管理者名		株式会社明日葉				
開館時間		13:00 ～ 18:30				
建物情報	総延床面積	90.44		土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	3				
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	—			うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2002/1/7				
	経過年数(主要建物)	22				
用途地域		第二種中高層住居専用地域				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		—		—		—
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	—		—		—
特記事項	—					



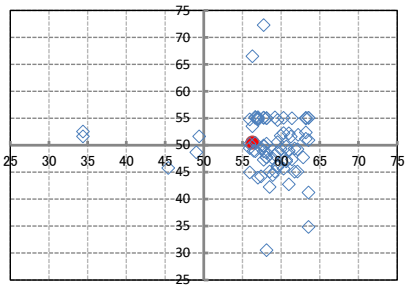
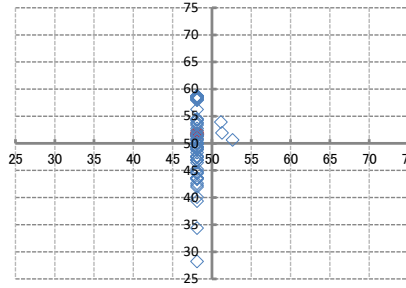
項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	人件費	0	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	7	7	10
	維持補修費(修繕費)	0	195	0
	物件費(光熱水費)	119	213	94
	物件費(借地利)	0	0	0
	支出計(B)	126	415	104
行政コスト(B-A)		126	415	104
収支前年比		30.36	399.04	34.10
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		284	284	284
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	48	48	48
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	5,822	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	07-077	たかだい放課後児童会	生活	1.1
	07-014	こうま放課後児童会	生活	1.4
	07-073	中部学園放課後児童会	生活	1.6
	07-015	ひろさわ放課後児童会	生活	1.7
	07-003	かみじま放課後児童会	生活	1.8
	07-068	とみつか放課後児童会	生活	1.9
	07-006	広沢子育て支援ひろば	生活	1.9
その他の分類	15-018	城北小学校	生活	0.0
	01-007	計量検査所	市域	0.3
	13-009	住吉二丁目団地	地域	0.4
	03-021	和地山公園集会所	生活	0.4
	06-002	城北図書館	市域	0.4
	13-008	住吉一丁目団地	地域	0.5
	21-001	浜松斎場	地域	0.5
	25-001	住吉庁舎	—	0.7



基本情報	リストNo	07-010	施設コード	01408	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	城北第2放課後児童会			所管課	施設	子ども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後もニーズは高い状況にあると見込まれる							
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年生までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
						のべ募集人員	参加者数			
		事業①	放課後児童健全育成事業(城北第2放課後児童会)	2023	—	—	—			
2022				—	—	—				
2021				—	—	—				
事業②		—	2023	—	—	—				
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
事業③	—	2023	—	—	—					
		2022	—	—	—					
		2021	—	—	—					
事業④	—	2023	—	—	—					
		2022	—	—	—					
		2021	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	1,393	4,589	1,150	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	2,625	8,646	2,167	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	当面適切な維持管理に努める。※専用教室(城北小学校)								

リストNo		07-011	施設コード	01710	
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設			
施設名		若竹第2放課後児童会			
所在(町名・番地)		中央区向宿三丁目8-18			
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当		課長名	鈴木 健一郎
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課		課長名	横井 通文
設置根拠(法)		児童福祉法			
条例		—			
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者		就労等により屋間に保護者が対応できない小学生			
運営形態		施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～			
管理者名		株式会社明日葉			
開館時間		13:00 ～ 18:30			
建物情報	総延床面積	202.20	土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	鉄骨造		うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2007/3/26			
	経過年数(主要建物)	17			
用途地域		第一種住居地域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



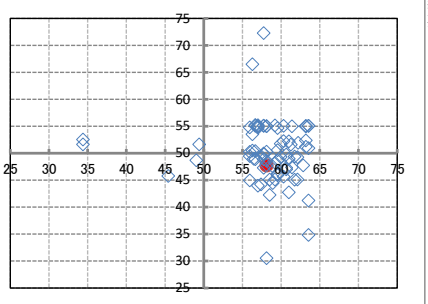
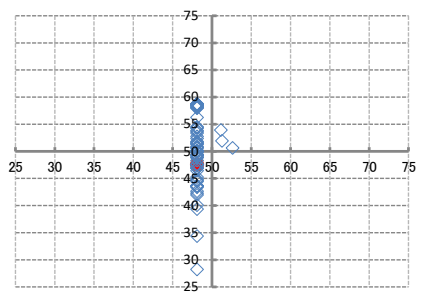
項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	人件費	0	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	97	42	31
	維持補修費(修繕費)	674	255	94
	物件費(光熱水費)	516	621	524
	物件費(借地利)	0	0	0
	支出計(B)	1,287	918	649
行政コスト(B-A)		1,287	918	649
収支前年比		140.20	141.45	79.44
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,283	1,283	1,283
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	85	85	80
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	20,952	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2006	放課後児童会整備工事(建築工事)	32,313			
	2006	放課後児童会整備工事(機械設備工事)	9,608			

近隣施設			
同分類	No	施設名	圏域種別
	07-046	芳北小放課後児童会	生活
	07-076	さなえ放課後児童会	生活
	07-043	さなえ第2放課後児童会	生活
	07-075	さとう第2放課後児童会	生活
	07-008	さとう放課後児童会	生活
	07-027	ポプラの子放課後児童会	生活
	07-039	いなほ放課後児童会	生活
その他の分類	15-022	相生小学校	生活
	15-056	芳川北小学校	生活
	03-022	東部協働センター	生活
	13-022	富吉団地改良住宅	地域
	03-077	江東会館	コミュニティ
	26-006	東雨水ポンプ場	—
	01-011	中央土木整備事務所	地域
	14-007	中消防署相生出張所・浜松第7分団	地域



基本情報	リストNo	07-011	施設コード	01710	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	若竹第2放課後児童会			所管課	施設	子ども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後もニーズは高い状況にあると見込まれる							
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年生までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
						のべ募集人員	参加者数			
		事業①	放課後児童健全育成事業(若竹放課後児童会)	2023	—	—	—			
2022				—	—	—				
2021				—	—	—				
事業②		放課後児童健全育成事業(若竹第2放課後児童会)	2023	—	—	—				
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
事業③	—	2023	—	—	—					
		2022	—	—	—					
		2021	—	—	—					
事業④	—	2023	—	—	—					
		2022	—	—	—					
		2021	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民生活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	6,365	4,540	3,210	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	15,141	10,800	8,113
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
参考指標								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。				利用状況等による評価(横軸)			
参考指標	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(相生小学校)							

リストNo		07-012	施設コード	02628	
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設			
施設名		北星児童館			
所在(町名・番地)		中央区花川町1977番地			
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	こども家庭部子育て支援課		課長名	小山 東男
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課		課長名	横井 通文
設置根拠(法)		児童福祉法			
条例		浜松市児童館条例			
設置目的		児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。			
主な利用者		0歳児から18歳未満の乳幼児・児童および付き添いの保護者			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		9:00 ～ 17:00			
建物情報	総延床面積	199.01	土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	2			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	1.54		うち借地面積	0.00
	耐震工事(主要建物)	—			
	建築年月日(主要建物)	1979/4/1		代表地目(現況地目)	
	経過年数(主要建物)	45			
用途地域		市街化調整区域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出（千円）	人件費	10,000	10,800	10,800
	物件費(委託料)	223	204	176
	維持補修費(修繕費)	1,509	327	409
	物件費(光熱水費)	498	608	547
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	12,230	11,939	11,932
	行政コスト(B－A)	12,230	11,939	11,932
収支前年比		102.44	100.06	103.25
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		758	758	758
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	3,081	3,254	2,944
	開館日数/年	292	293	293
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	1,103	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	07-017	みずほ放課後児童会	生活	1.5
	07-035	わじ第1放課後児童会	生活	2.0

その他の分類	03-079	北星会館	コミュニティ	0.0
	15-001	花川小学校	生活	0.1
	08-024	花川幼稚園	生活	0.2
	14-040	浜松第28分団	コミュニティ	0.2
	13-019	花川団地改良住宅	地域	0.3
	05-005	花川運動公園庭球場	市域	0.6
	08-001	花川保育園	生活	1.3
	05-008	北部水泳場	地域	1.5

施設周辺地図情報	

基本情報	リストNo	07-012	施設コード	02628	所管課	本庁	こども家庭部子育て支援課		
	施設名	北星児童館			施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	1	再任用(人)	2		
	複合施設	北星会館							
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり、子どもとその家庭に対する相談援助							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。							
		主な業務内容	児童館の遊具をつかって遊ぶ自由来館施設						
		主な利用者	0歳児から18歳未満の乳幼児・児童および付き添いの保護者						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者がある						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	少子化に伴う対象者数の減少							
	特記事項	—							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況		
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	絵手紙教室・七夕会・ドライフラワー教室・紙工作教室・観劇・食育教室	2023	14	62	62		
				2022	14	36	36		
				2021	7	11	11		
		事業②	児童館の遊具や北星会館・児童館敷地内の遊具を利用して季節や天候に合わせた遊びの提供を行う。(事業①利用者を含む)	2023	—	—	3,081		
			2022	—	—	3,254			
			2021	—	—	2,944			
事業③		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
		2021	—	—	—				
事業④	—	2023	—	—	—				
		2022	—	—	—				
		2021	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	併設の北星会館(昭和39年開設・昭和54年改築)とともに施設の老朽化とその対応。							
	対応策	日常点検等を通じ老朽化度の把握に努め、必要な修繕を実施していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	○	他の施設との複合化を将来的に検討していく。			
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	61,454	59,992	59,957	1人当たりのコスト(円)	3,969	3,669	4,053
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	41,884	40,747	40,724
	1日当たり利用者(人)	11	11	10	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。				利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
	当面適切な維持管理に努める。更新時には近隣施設との複合化も検討する。							

リストNo		07-013		施設コード		04170		
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設						
施設名		こだま放課後児童会						
所在(町名・番地)		中央区海老塚二丁目5-1						
利用者の圏域別分類等		生活			非中山間地域			
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設		
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			課長名	鈴木 健一郎		
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			課長名	横井 通文		
設置根拠(法)		児童福祉法						
条例		—						
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
主な利用者		就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
運営形態		施設包括管理委託						
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～						
管理者名		株式会社明日葉						
開館時間		13:00 ～ 18:30						
建物情報	総延床面積	81.00		土地情報	土地面積	0.00		
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート一部鉄骨造			うち所有面積	0.00		
	地上階数(主要建物)	1				うち借地面積	0.00	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新					代表地目(現況地目)	
	耐震工事(主要建物)	-						
	建築年月日(主要建物)	2010/2/22						
	経過年数(主要建物)	14						
用途地域		商業地域						
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計		
設置事業費		—		—		—		
財源	国・県	—		—		—		
	寄付金	—		—		—		
	その他	—		—		—		
	市債	—		—		—		
	一般財源	—		—		—		
特記事項	—							



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	17	58	0
	物件費(光熱水費)	96	88	52
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	113	146	52
行政コスト(B-A)		113	146	52
収支前年比		77.40	280.77	43.33
(参考) 指定管理料		0	0	0
(参考) 減価償却費		131	131	131
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	32	32	32
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	4,112	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	07-001	浜松こども館	市域		0.6	
	07-070	あがたい放課後児童会	生活		1.0	
	07-007	江西児童館	生活		1.3	
	07-073	中部学園放課後児童会	生活		1.8	
	07-006	広沢子育て支援ひろば	生活		1.9	
そ の 他 の 分 類	15-007	双葉小学校	生活		0.0	
	01-010	海老塚事務所	地域		0.3	
	03-004	福祉交流センター	市域		0.4	
	03-029	南部協働センター	生活		0.4	
	06-004	南図書館	地域		0.4	
	19-003	駅南地下駐車場	地域		0.5	
	26-005	南ポンプ場	—		0.5	
	08-008	南保育園	生活		0.6	
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	07-013	施設コード	04170	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	こだま放課後児童会			所管課	施設	子ども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後もニーズは高い状況にあると見込まれる							
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年生までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
						のべ募集人員	参加者数			
		事業①	放課後児童健全育成事業(こだま放課後児童会)	2023	—	—	—			
2022				—	—	—				
2021				—	—	—				
事業②		—	2023	—	—	—				
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
事業③	—	2023	—	—	—					
		2022	—	—	—					
		2021	—	—	—					
事業④	—	2023	—	—	—					
		2022	—	—	—					
		2021	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民生活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	1,395	1,802	642	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	3,531	4,563	1,625
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。				利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	当面適切な維持管理に努める。※専用教室(双葉小学校)							

リストNo		07-014	施設コード		04298
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設			
施設名		こうま放課後児童会			
所在(町名・番地)		中央区曳馬一丁目1-35			
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公共用財産		その他施設
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当		課長名	鈴木 健一郎
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課		課長名	横井 通文
設置根拠(法)		児童福祉法			
条例		—			
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者		就労等により屋間に保護者が対応できない小学生			
運営形態		施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～			
管理者名		株式会社明日葉			
開館時間		13:00 ～ 18:30			
建物情報	総延床面積	215.28	土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	鉄骨造		うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	2			
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2010/11/30			
	経過年数(主要建物)	13			
用途地域		第一種住居地域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



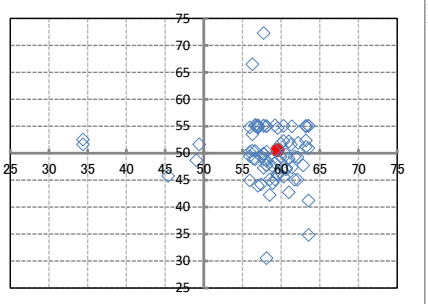
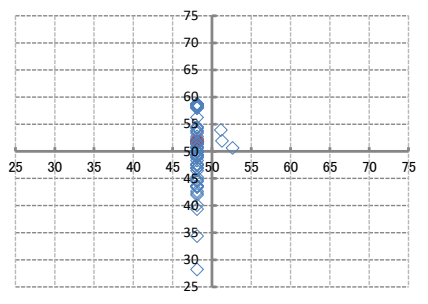
項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	人件費	0	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	42	114	31
	維持補修費(修繕費)	124	2,490	11
	物件費(光熱水費)	585	706	332
	物件費(借地利)	0	0	0
	支出計(B)	751	3,310	374
行政コスト(B-A)		751	3,310	374
収支前年比		22.69	885.03	72.76
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,176	1,176	1,176
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	80	80	80
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	23,904	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2010	施設整備工事(建築工事)	30,975			
	2010	施設整備工事(機械設備工事)	7,903			

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	07-016	ふなこし放課後児童会	生活	1.0
	07-003	かみじま放課後児童会	生活	1.0
	07-010	城北第2放課後児童会	生活	1.4
	07-008	さとう放課後児童会	生活	1.6
	07-075	さとう第2放課後児童会	生活	1.6
	07-073	中部学園放課後児童会	生活	2.0
その他の分類	15-013	曳馬小学校	生活	0.0
	14-037	浜松第11分団	コミュニティ	0.3
	03-069	金屋会館	コミュニティ	0.3
	15-101	曳馬中学校	生活	0.4
	03-030	曳馬協働センター	生活	0.5
	16-002	青少年の家	市域	0.8
	14-035	浜松第9分団	コミュニティ	0.9
	15-106	八幡中学校	生活	0.9



基本情報	リストNo	07-014	施設コード	04298	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	こうま放課後児童会			所管課	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもたちが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後もニーズは高い状況にあると見込まれる							
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年生までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)	年度	事業費(千円)	実施状況					
					のべ募集人員	参加者数				
			事業①	2023	—	—				
放課後児童健全育成事業(こうま放課後児童会)			2022	—	—					
2021			—	—						
事業②			2023	—	—					
放課後児童健全育成事業(こうま第2放課後児童会)			2022	—	—					
2021			—	—						
事業③			2023	—	—					
—			2022	—	—					
2021			—	—						
事業④			2023	—	—					
—	2022	—	—							
2021	—	—								
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民生活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	3,488	15,375	1,737	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	9,388	41,375	4,675	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(曳馬小学校)								

リストNo		07-015	施設コード		04398	
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設				
施設名		ひろさわ放課後児童会				
所在(町名・番地)		中央区広沢二丁目51-1				
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域		
財産区分		行政財産	公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当		課長名	鈴木 健一郎	
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課		課長名	横井 通文	
設置根拠(法)		児童福祉法				
条例		—				
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する				
主な利用者		就労等により屋間に保護者が対応できない小学生				
運営形態		施設包括管理委託				
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～				
管理者名		シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 中部第二支店				
開館時間		13:00 ～ 18:30				
建物情報	総延床面積	245.44		土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	軽量鉄骨プレハブ造			うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	2				
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	-			うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2012/2/3				
	経過年数(主要建物)	12				
代表地目(現況地目)						
用途地域		第一種中高層住居専用地域				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		—		—		—
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	—		—		—
特記事項	—					



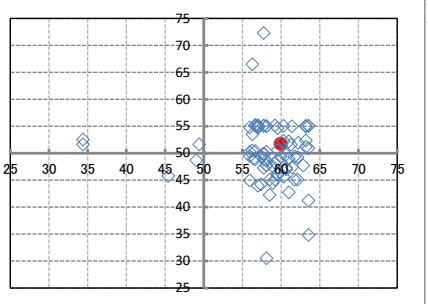
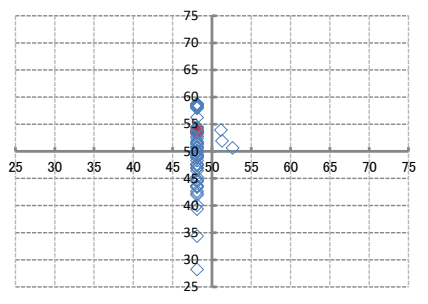
項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	人件費	0	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	42	42	31
	維持補修費(修繕費)	165	66	154
	物件費(光熱水費)	402	458	385
	物件費(借地利)	0	0	0
	支出計(B)	609	566	570
行政コスト(B-A)		609	566	570
収支前年比		107.60	99.30	58.76
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,731	1,731	1,731
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	100	100	100
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	24,775	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2011	施設整備工事(建築工事)	44,303			
	2011	施設整備工事(機械設備工事)	8,150			

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	07-006	広沢子育て支援ひろば	生活	0.7
	07-073	中部学園放課後児童会	生活	0.9
	07-068	とみつか放課後児童会	生活	1.4
	07-004	かものこ放課後児童会	生活	1.5
	07-010	城北第2放課後児童会	生活	1.7
	07-081	こりす・こりす第2放課後児童会	生活	1.8
	07-009	さなる放課後児童会	生活	1.9
その他の分類	15-015	広沢小学校	生活	0.0
	03-025	西部協働センター	生活	0.3
	15-146	市立高等学校	市域	0.3
	15-109	蛸塚中学校	生活	0.5
	13-006	鹿谷(市立東)団地	地域	0.6
	14-031	浜松第3分団	コミュニティ	0.6
	08-007	西保育園	生活	0.6
	13-018	蛸塚団地	地域	0.6



基本情報	リストNo	07-015	施設コード	04398	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	ひろさわ放課後児童会			所管課	施設	子ども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後もニーズは高い状況にあると見込まれる							
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年生までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業①	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
							のべ募集人員	参加者数		
			放課後児童健全育成事業(ひろさわ放課後児童会)		2023	—	—	—		
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
事業②			放課後児童健全育成事業(ひろさわ第2放課後児童会)		2023	—	—	—		
					2022	—	—	—		
					2021	—	—	—		
事業③			—		2023	—	—	—		
					2022	—	—	—		
					2021	—	—	—		
事業④			—		2023	—	—	—		
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	2,481	2,306	2,322	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	6,090	5,660	5,700	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—		
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(広沢小学校)								

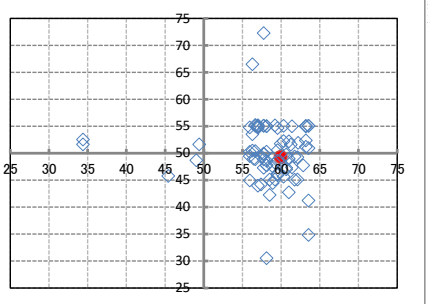
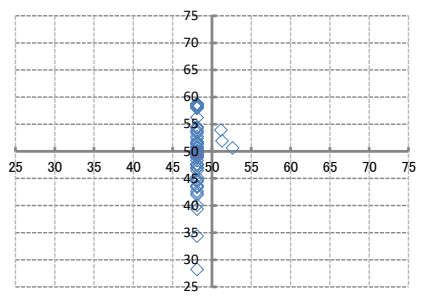
リストNo		07-016	施設コード		04399	
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設				
施設名		ふなこし放課後児童会				
所在(町名・番地)		中央区船越町31-24				
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域		
財産区分		行政財産	公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当		課長名	鈴木 健一郎	
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課		課長名	横井 通文	
設置根拠(法)		児童福祉法				
条例		—				
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する				
主な利用者		就労等により昼間に保護者が対応できない小学生				
運営形態		施設包括管理委託				
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～				
管理者名		株式会社明日業				
開館時間		13:00 ～ 18:30				
建物情報	総延床面積	129.24		土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	軽量鉄骨プレハブ造			うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	1				
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	-			うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2011/12/16				
	経過年数(主要建物)	12				
用途地域		近隣商業地域				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		—		—		—
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	—		—		—
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	21	21	31
	維持補修費(修繕費)	286	0	0
	物件費(光熱水費)	262	316	243
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	569	337	274
行政コスト(B-A)		569	337	274
収支前年比		168.84	122.99	114.17
(参考) 指定管理料		0	0	0
(参考) 減価償却費		890	890	890
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	44	44	44
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	12,748	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2011	施設整備工事	25,807			
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
	07-008	さとう放課後児童会	生活	0.7		
	07-075	さとう第2放課後児童会	生活	0.7		
	07-014	こうま放課後児童会	生活	1.0		
	07-027	ボブラの子放課後児童会	生活	1.4		
	07-073	中部学園放課後児童会	生活	1.9		
	07-003	かみじま放課後児童会	生活	1.9		
	07-001	浜松こども館	市域	1.9		
その他の分類	15-005	船越小学校	生活	0.1		
	15-106	八幡中学校	生活	0.1		
	14-039	浜松第15分団	コミュニティ	0.3		
	26-003	北ポンプ場	—	0.4		
	24-002	茄子揚水機場	—	0.5		
	03-003	勤労青少年ホーム(アイミティ浜松)	市域	0.5		
	15-003	佐藤小学校	生活	0.7		
	14-037	浜松第11分団	コミュニティ	0.7		
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	07-016	施設コード	04399	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	ふなこし放課後児童会			所管課	施設	子ども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後もニーズは高い状況にあると見込まれる							
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年生までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)	年度	事業費(千円)	実施状況					
					のべ募集人員	参加者数				
			2023	—	—	—				
2022			—	—	—					
事業①		放課後児童会健全育成事業(ふなこし放課後児童会)	2023	—	—	—				
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
		事業②	—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
事業③			—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—				
		2021	—	—	—					
	事業④	—	2023	—	—	—				
		2022	—	—	—					
		2021	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民生活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	4,403	2,608	2,120	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	12,932	7,659	6,227	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(船越小学校近接の八幡中学校内)								

リストNo		07-017	施設コード		04965	
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設				
施設名		みずほ放課後児童会				
所在(町名・番地)		中央区高丘北三丁目15-8				
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域		
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当		課長名	鈴木 健一郎	
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課		課長名	横井 通文	
設置根拠(法)		児童福祉法				
条例		—				
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する				
主な利用者		就労等により屋間に保護者が対応できない小学生				
運営形態		施設包括管理委託				
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～				
管理者名		株式会社明日葉				
開館時間		13:00 ～ 18:30				
建物情報	総延床面積	242.98	土地情報	土地面積	0.00	
	構造(主要建物)	軽量鉄骨造		うち所有面積	0.00	
	地上階数(主要建物)	2				
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	0.00	
	建築年月日(主要建物)	2015/3/10		代表地目(現況地目)		
	経過年数(主要建物)	9				
用途地域		第一種住居地域				
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)		計	
設置事業費		—	—		—	
財源	国・県	—	—		—	
	寄付金	—	—		—	
	その他	—	—		—	
	市債	—	—		—	
	一般財源	—	—		—	
特記事項	—					



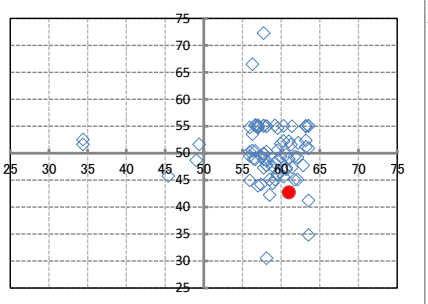
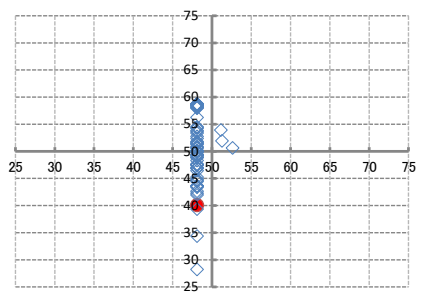
項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	人件費	0	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	42	42	31
	維持補修費(修繕費)	0	706	44
	物件費(光熱水費)	506	485	445
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	548	1,233	520
行政コスト(B-A)		548	1,233	520
収支前年比		44.44	237.12	50.19
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,600	1,600	1,600
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	110	110	110
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	27,706	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2014	施設整備工事(建築工事)	40,518			
	2014	施設整備工事(機械設備工事)	9,504			

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	07-005	葵西放課後児童会	生活	1.1
	07-012	北星児童館	生活	1.5
	07-079	あおぞら放課後児童会	生活	1.6
	07-072	みかた放課後児童会	生活	1.9
その他の分類	15-019	瑞穂小学校	生活	0.0
	13-021	高丘団地再開発住宅	地域	0.5
	13-004	高丘団地	地域	0.5
	03-071	瑞穂会館	コミュニティ	0.6
	03-076	高丘北会館	コミュニティ	0.6
	01-029	高丘葵市民サービスセンター	生活	0.6
	05-008	北部水泳場	地域	0.7
	15-102	開成中学校	生活	1.0



基本情報	リストNo	07-017	施設コード	04965	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	みずほ放課後児童会			所管課	施設	子ども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後もニーズは高い状況にあると見込まれる					
	特記事項				平成27年4月より、対象を小学3年生までから小学生へ拡大					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
						のべ募集人員	参加者数			
		事業①	放課後児童健全育成事業(みずほ放課後児童会)	2023	—	—	—			
2022				—	—	—				
2021				—	—	—				
事業②		放課後児童健全育成事業(みずほ第2放課後児童会)	2023	—	—	—				
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
事業③	—	2023	—	—	—					
		2022	—	—	—					
		2021	—	—	—					
事業④	—	2023	—	—	—					
		2022	—	—	—					
		2021	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	2,255	5,074	2,140	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	4,982	11,209	4,727
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
参考指標								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。				利用状況等による評価(横軸)			
参考指標	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
個別方針	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(瑞穂小学校)							

リストNo		07-018		施設コード		00044		
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設						
施設名		かさいっこ放課後児童会						
所在(町名・番地)		中央区笠井町1050						
利用者の圏域別分類等		生活			非中山間地域			
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設		
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			課長名	鈴木 健一郎		
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			課長名	横井 通文		
設置根拠(法)		児童福祉法						
条例		—						
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
主な利用者		昼間に保護者が対応できない小学生						
運営形態		施設包括管理委託						
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～						
管理者名		株式会社明日葉						
開館時間		13:00 ～ 18:30						
建物情報	総延床面積	96.61		土地情報	土地面積		0.00	
	構造(主要建物)	軽量鉄骨造			うち所有面積	0.00		
	地上階数(主要建物)	1				うち借地面積	0.00	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新						
	耐震工事(主要建物)	—						
	建築年月日(主要建物)	2000/9/1						
	経過年数(主要建物)	23			代表地目(現況地目)			
用途地域		第一種住居地域						
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計		
設置事業費		—		—		—		
財源	国・県	—		—		—		
	寄付金	—		—		—		
	その他	—		—		—		
	市債	—		—		—		
	一般財源	—		—		—		
特記事項	—							



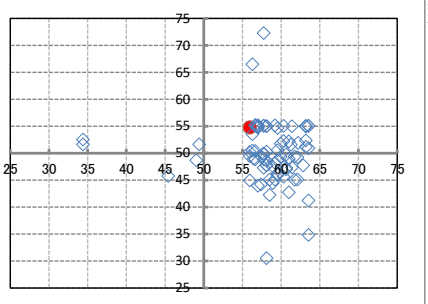
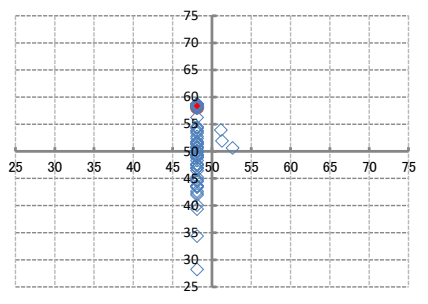
項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	42	14	21
	維持補修費(修繕費)	261	13	31
	物件費(光熱水費)	112	115	117
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	415	142	169
	行政コスト(B-A)	415	142	169
収支前年比		292.25	84.02	128.03
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		481	481	481
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	46	46	46
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	1,634	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
	No	施設名	圏域種別	距離(km)
同 分 類	07-019	かさいこ第2放課後児童会	生活	0.0
	07-022	とよにしこ放課後児童会	生活	1.0
	07-057	北浜南たんぼぼクラブ	生活	1.5
	07-021	なかごおり第2放課後児童会	生活	1.9
そ の 他 の 分 類	15-027	笠井小学校	生活	0.0
	08-025	笠井幼稚園	生活	0.0
	14-044	浜松第22分団	コミュニティ	0.1
	15-110	笠井中学校	生活	0.2
	03-034	笠井協働センター	生活	0.3
	08-010	笠井保育園	生活	0.6
	15-033	豊西小学校	生活	0.9
	08-027	豊西幼稚園	生活	1.0

施設周辺地図情報

基本情報	リストNo	07-018	施設コード	00044	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当		
	施設名	かさいっこ放課後児童会			所管課	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	昼間に保護者が対応できない小学生						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、需要は高まっている					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後も需要は高い状況にあると見込まれる						
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大						
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	放課後児童健全育成事業(かさいっこ放課後児童会)	2023	—	—	—		
2022				—	—	—			
2021				—	—	—			
事業②		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—			
	2022		—	—	—				
	2021		—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	大雨が降り、風向き次第で窓枠から雨水が入ってくることがある。							
	対応策	継続して状況を把握し、必要に応じて修繕を検討する。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	○	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	4,296	1,470	1,749	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	9,022	3,087	3,674	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(笠井小学校)									

リストNo		07-019		施設コード		04972		
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設						
施設名		かさいっこ第2放課後児童会						
所在(町名・番地)		中央区笠井町1050						
利用者の圏域別分類等		生活			非中山間地域			
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設		
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			課長名	鈴木 健一郎		
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			課長名	横井 通文		
設置根拠(法)		児童福祉法						
条例		—						
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
主な利用者		昼間に保護者が対応できない小学生						
運営形態		施設包括管理委託						
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～						
管理者名		株式会社明日葉						
開館時間		13:00 ～ 18:30						
建物情報	総延床面積	84.28		土地情報	土地面積		0.00	
	構造(主要建物)	鉄骨造			うち所有面積	0.00		
	地上階数(主要建物)	1				うち借地面積	0.00	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新						
	耐震工事(主要建物)	—						
	建築年月日(主要建物)	2004/2/16						
	経過年数(主要建物)	20			代表地目(現況地目)			
用途地域		第一種住居地域						
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計		
設置事業費		—		—		—		
財源	国・県	—		—		—		
	寄付金	—		—		—		
	その他	—		—		—		
	市債	—		—		—		
	一般財源	—		—		—		
特記事項	—							



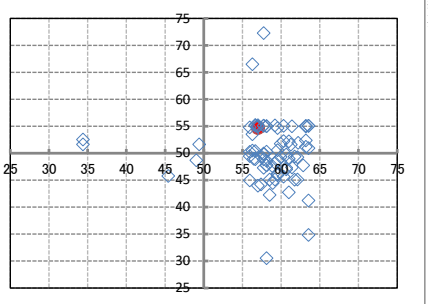
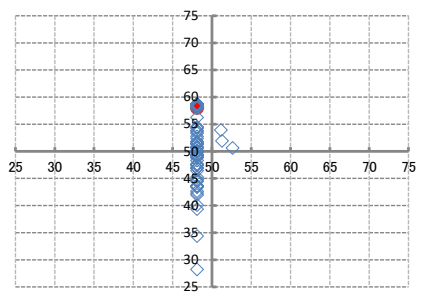
項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	21	21	31
	維持補修費（修繕費）	167	6	9
	物件費（光熱水費）	219	246	214
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計(B)	407	273	254
行政コスト(B-A)		407	273	254
収支前年比		149.08	107.48	112.89
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		611	611	611
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	40	40	40
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B/S情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	8,149	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
	No	施設名	圏域種別	距離(km)
同 分 類	07-018	かさいっこ放課後児童会	生活	0.0
	07-022	とよにしっこ放課後児童会	生活	1.0
	07-057	北浜南たんぼぼクラブ	生活	1.5
	07-021	なかごおり第2放課後児童会	生活	1.9
そ の 他 の 分 類	15-027	笠井小学校	生活	0.0
	08-025	笠井幼稚園	生活	0.0
	14-044	浜松第22分団	コミュニティ	0.1
	15-110	笠井中学校	生活	0.2
	03-034	笠井協働センター	生活	0.3
	08-010	笠井保育園	生活	0.6
	15-033	豊西小学校	生活	0.9
	08-027	豊西幼稚園	生活	1.0

施設周辺地図情報	

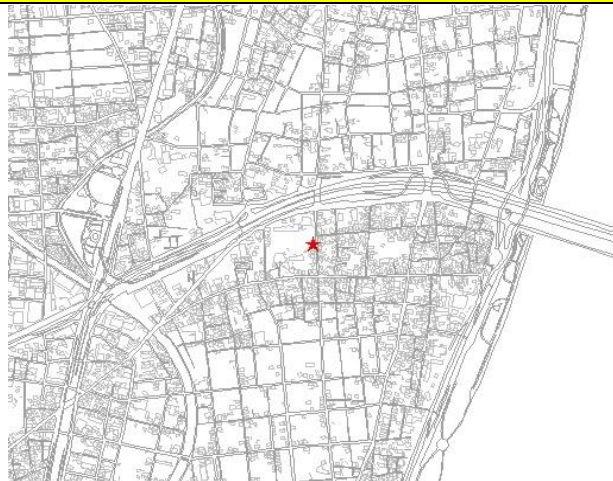
基本情報	リストNo	07-019	施設コード	04972	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当
	施設名	かさいこ第2放課後児童会			所管課	施設	子ども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する					
		主な利用者	昼間に保護者が対応できない小学生					
		設置目的の継続性・妥当性						
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、需要は高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後も需要は高い状況にあると見込まれる					
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
						のべ募集人員	参加者数	
		事業①	放課後児童健全育成事業(かさいこ第2放課後児童会)	2023	—	—	—	
				2022	—	—	—	
				2021	—	—	—	
事業②		—	2023	—	—	—		
			2022	—	—	—		
			2021	—	—	—		
事業③		—	2023	—	—	—		
			2022	—	—	—		
			2021	—	—	—		
事業④		—	2023	—	—	—		
	2022		—	—	—			
	2021		—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—						
	対応策	—						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
		統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	○	—			
	広域化	—	—	—	—			
民生活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。							

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	4,829	3,239	3,014	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	10,175	6,825	6,350	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(笠井小学校)								

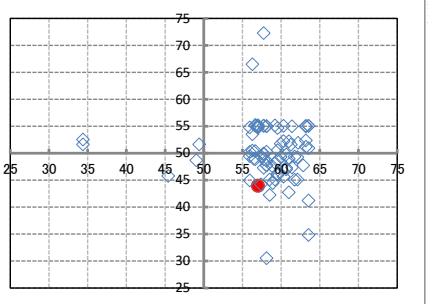
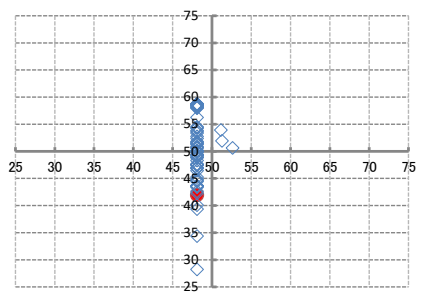
リストNo		07-020		施設コード		01854		
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設						
施設名		すぎの子第2放課後児童会						
所在(町名・番地)		中央区中野町427-1						
利用者の圏域別分類等		生活			非中山間地域			
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設		
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			課長名	鈴木 健一郎		
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			課長名	横井 通文		
設置根拠(法)		児童福祉法						
条例		—						
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
主な利用者		昼間に保護者が対応できない小学生						
運営形態		施設包括管理委託						
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～						
管理者名		株式会社明日葉						
開館時間		13:00 ～ 18:30						
建物情報	総延床面積	84.28		土地情報	土地面積		0.00	
	構造(主要建物)	鉄骨造			うち所有面積	0.00		
	地上階数(主要建物)	1				うち借地面積	0.00	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新						
	耐震工事(主要建物)	-						
	建築年月日(主要建物)	2004/2/16			代表地目(現況地目)			
	経過年数(主要建物)	20						
用途地域		第一種住居地域						
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計		
設置事業費		—		—		—		
財源	国・県	—		—		—		
	寄付金	—		—		—		
	その他	—		—		—		
	市債	—		—		—		
	一般財源	—		—		—		
特記事項	—							



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	0	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	21	21	31
	維持補修費（修繕費）	0	94	9
	物件費（光熱水費）	210	232	185
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	231	347	225
行政コスト（B－A）		231	347	225
収支前年比		66.57	154.22	109.22
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		667	667	667
利用状況	利用コマ数／年	—	—	—
	利用可能コマ数／年	—	—	—
	施設利用者数／年	—	—	—
	開館日数／年	—	—	—
	施設定員数	40	40	40
	図書貸出冊数／年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	8,897	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
	07-071	たけの子放課後児童会	生活	1.1		
	07-026	和田っ子放課後児童会	生活	1.2		
その他の分類	08-026	中ノ町幼稚園	生活	0.0		
	15-031	中ノ町小学校	生活	0.0		
	14-045	浜松第24分団	コミュニティ	0.3		
	03-083	安新会館	コミュニティ	0.5		
	08-012	中ノ町保育園	生活	0.7		
	03-032	天竜協働センター	生活	0.7		
	15-114	天竜中学校	生活	1.0		
	15-038	和田東小学校	生活	1.1		
施設周辺地図情報						
						

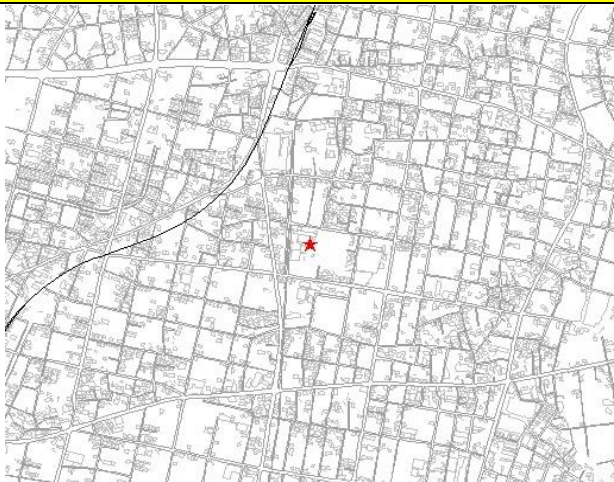
基本情報	リストNo	07-020	施設コード	01854	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当
	施設名	すぎの子第2放課後児童会			所管課	施設	子ども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する					
		主な利用者	昼間に保護者が対応できない小学生					
		設置目的の継続性・妥当性						
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、需要は高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後も需要は高い状況にあると見込まれる					
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
						のべ募集人員	参加者数	
		事業①	放課後児童健全育成事業(すぎの子第2放課後児童会)	2023	—	—	—	
				2022	—	—	—	
				2021	—	—	—	
		事業②	—	2023	—	—	—	
2022				—	—	—		
2021				—	—	—		
事業③		—	2023	—	—	—		
			2022	—	—	—		
			2021	—	—	—		
事業④		—	2023	—	—	—		
	2022		—	—	—			
	2021		—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—						
	対応策	—						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
		統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	○	—			
	広域化	—	—	—	—			
民活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。							

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	2,741	4,117	2,670	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	5,775	8,675	5,625
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
参考	利用者等の圏域毎の方向性							
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。						
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	1資産の見直し		複合化	—	—	—	—
		2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—
		当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(中ノ町小学校)						

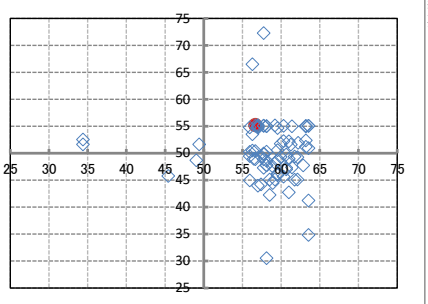
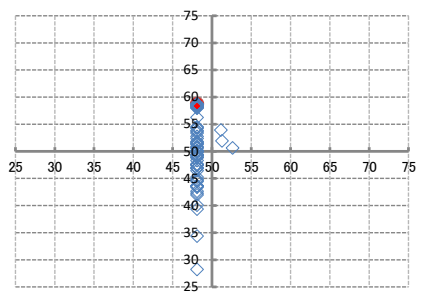
リストNo		07-021	施設コード	01866	
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設			
施設名		なかごおり第2放課後児童会			
所在(町名・番地)		中央区中郡町915			
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当		課長名	鈴木 健一郎
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課		課長名	横井 通文
設置根拠(法)		児童福祉法			
条例		—			
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者		昼間に保護者が対応できない小学生			
運営形態		施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～			
管理者名		株式会社社明日葉			
開館時間		13:00 ～ 18:30			
建物情報	総延床面積	87.80	土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	3			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2003/1/7			
	経過年数(主要建物)	21			
用途地域		市街化調整区域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	7	7	10
	維持補修費(修繕費)	0	43	9
	物件費(光熱水費)	86	77	44
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	93	127	63
	行政コスト(B-A)	93	127	63
収支前年比		73.23	201.59	21.50
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		233	233	233
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	49	49	49
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	4,865	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	07-025	積志ひまわり放課後児童会	生活		1.3	
	07-069	おおせ放課後児童会	生活		1.5	
	07-018	かさいっこ放課後児童会	生活		1.9	
	07-019	かさいっこ第2放課後児童会	生活		1.9	
その他の分類	15-032	中郡小学校	生活		0.0	
	15-113	中郡中学校	生活		0.2	
	08-028	万斛幼稚園	生活		0.2	
	17-003	万斛庄屋公園	地域		0.3	
	10-003	ふれあい交流センター竜西	地域		0.5	
	08-032	橋爪幼稚園	生活		0.7	
	13-023	笠井新田団地	地域		1.1	
	03-035	積志協働センター	生活		1.1	
施設周辺地図情報						
						

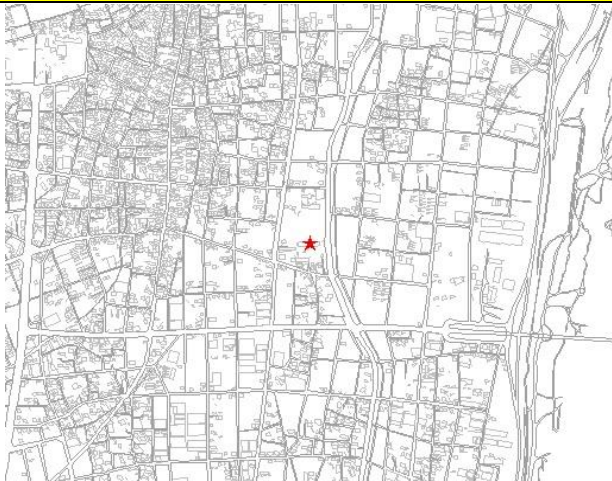
基本情報	リストNo	07-021	施設コード	01866	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	なかごおり第2放課後児童会			所管課	施設	子ども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、需要は高まっている						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後も需要は高い状況にあると見込まれる							
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
						のべ募集人員	参加者数			
		事業①	放課後児童健全育成事業(なかごおり第2放課後児童会)	2023	—	—				
				2022	—	—				
				2021	—	—				
事業②		—	2023	—	—					
			2022	—	—					
			2021	—	—					
事業③		—	2023	—	—					
			2022	—	—					
			2021	—	—					
事業④		—	2023	—	—					
	2022		—	—						
	2021		—	—						
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	1,059	1,446	718	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	1,898	2,592	1,286
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
参考指標								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
参考指標	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。						
	個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
個別方針	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	当面適切な維持管理に努める。※専用教室(中郡小学校)							

リストNo		07-022	施設コード	04973	
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設			
施設名		とよにしっこ放課後児童会			
所在(町名・番地)		中央区豊西町1551			
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当		課長名	鈴木 健一郎
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課		課長名	横井 通文
設置根拠(法)		児童福祉法			
条例		—			
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者		昼間に保護者が対応できない小学生			
運営形態		施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～			
管理者名		株式会社社明日葉			
開館時間		13:00 ～ 18:30			
建物情報	総延床面積	187.88	土地情報	土地面積	162.00
	構造(主要建物)	鉄骨造		うち所有面積	162.00
	地上階数(主要建物)	2			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—			
	建築年月日(主要建物)	2006/3/27			
	経過年数(主要建物)	18		うち借地面積	0.00
		代表地目(現況地目)		学校用地	
用途地域		市街化調整区域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	0	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	21	21	31
	維持補修費（修繕費）	9	75	150
	物件費（光熱水費）	148	147	166
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	178	243	347
行政コスト（B－A）		178	243	347
収支前年比		73.25	70.03	74.78
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		1,362	1,362	1,362
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	60	60	60
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	1,620	20,880	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
	07-018	かさいっこ放課後児童会	生活	1.0		
	07-019	かさいっこ第2放課後児童会	生活	1.0		
その他の分類	08-027	豊西幼稚園	生活	0.0		
	15-033	豊西小学校	生活	0.1		
	03-034	笠井協働センター	生活	0.8		
	03-084	恒武会館	コミュニティ	0.9		
	14-044	浜松第22分団	コミュニティ	0.9		
	08-025	笠井幼稚園	生活	1.0		
	15-027	笠井小学校	生活	1.0		
	08-010	笠井保育園	生活	1.2		
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	07-022	施設コード	04973	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	とよにしっこ放課後児童会			所管課	施設	子ども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、需要は高まっている						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後も需要は高い状況にあると見込まれる							
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
						のべ募集人員	参加者数			
		事業①	放課後児童健全育成事業(とよにしっこ放課後児童会)	2023	—	—	—			
				2022	—	—	—			
				2021	—	—	—			
事業②		—	2023	—	—	—				
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
事業③		—	2023	—	—	—				
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
事業④		—	2023	—	—	—				
	2022		—	—	—					
	2021		—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	947	1,293	1,847	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	2,967	4,050	5,783	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(豊西小学校)								

リストNo		07-023		施設コード		02765		
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設						
施設名		よしん第3放課後児童会						
所在(町名・番地)		中央区天王町1351-1						
利用者の圏域別分類等		生活			非中山間地域			
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設		
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			課長名	鈴木 健一郎		
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			課長名	横井 通文		
設置根拠(法)		児童福祉法						
条例		—						
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
主な利用者		昼間に保護者が対応できない小学生						
運営形態		施設包括管理委託						
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～						
管理者名		株式会社明日葉						
開館時間		13:00 ～ 18:30						
建物情報	総延床面積	85.50		土地情報	土地面積		0.00	
	構造(主要建物)	鉄骨造			うち所有面積	0.00		
	地上階数(主要建物)	1				うち借地面積	0.00	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新						
	耐震工事(主要建物)	-						
	建築年月日(主要建物)	2003/2/17			代表地目(現況地目)			
	経過年数(主要建物)	21						
用途地域		第一種住居地域						
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計		
設置事業費		—		—		—		
財源	国・県	—		—		—		
	寄付金	—		—		—		
	その他	—		—		—		
	市債	—		—		—		
	一般財源	—		—		—		
特記事項	—							



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	21	21	31
	維持補修費(修繕費)	150	8	97
	物件費(光熱水費)	244	277	234
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	415	306	362
行政コスト(B-A)		415	306	362
収支前年比		135.62	84.53	344.76
(参考) 指定管理料		0	0	0
(参考) 減価償却費		526	526	526
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	40	40	40
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	6,488	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
	No	施設名	圏域種別	距離(km)
同 分 類	07-028	よしん第1・第2放課後児童会	生活	0.0
	07-078	よしん第4・第5放課後児童会	生活	0.0
	07-024	与進北放課後児童会	生活	0.7
	07-069	おおせ放課後児童会	生活	1.7
そ の 他 の 分 類	15-035	与進小学校	生活	0.0
	08-030	与進幼稚園	生活	0.1
	26-040	天王雨水ポンプ場	—	0.3
	03-033	長上協働センター	生活	0.6
	15-115	与進中学校	生活	0.7
	14-043	浜松第21分団	コミュニティ	0.7
	15-036	与進北小学校	生活	0.7
	26-039	市野雨水ポンプ場	—	0.8

施設周辺地図情報

基本情報	リストNo	07-023	施設コード	02765	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当		
	施設名	よしん第3放課後児童会			所管課	施設	子ども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	昼間に保護者が対応できない小学生						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、需要は高まっている					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後も需要は高い状況にあると見込まれる						
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大						
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	放課後児童健全育成事業(よしん第3放課後児童会)	2023	—	—			
2022				—	—				
2021				—	—				
事業②		—	2023	—	—				
			2022	—	—				
			2021	—	—				
事業③		—	2023	—	—				
			2022	—	—				
			2021	—	—				
事業④		—	2023	—	—				
	2022		—	—					
	2021		—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	○	—				
	広域化	—	—	—	—				
民生活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	4,854	3,579	4,234	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	10,375	7,650	9,050	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(与進小学校)								

リストNo		07-024	施設コード		04974		
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設					
施設名		与進北放課後児童会					
所在(町名・番地)		中央区市野町2715					
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域			
財産区分		行政財産	公共用財産		その他施設		
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当		課長名	鈴木 健一郎		
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課		課長名	横井 通文		
設置根拠(法)		児童福祉法					
条例		—					
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する					
主な利用者		昼間に保護者が対応できない小学生					
運営形態		施設包括管理委託					
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～					
管理者名		株式会社明日葉					
開館時間		13:00 ～ 18:30					
建物情報	総延床面積	273.50	土地情報	土地面積	377.00		
	構造(主要建物)	鉄骨造		うち所有面積	377.00		
	地上階数(主要建物)	2			うち借地面積	0.00	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		代表地目(現況地目)		学校用地	
	耐震工事(主要建物)	—					
	建築年月日(主要建物)	2006/3/27					
	経過年数(主要建物)	18					
用途地域		市街化調整区域					
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)		計		
設置事業費		—		—		—	
財源	国・県	—		—		—	
	寄付金	—		—		—	
	その他	—		—		—	
	市債	—		—		—	
	一般財源	—		—		—	
特記事項	—						



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	人件費	0	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	21	21	31
	維持補修費(修繕費)	0	7	138
	物件費(光熱水費)	319	299	254
	物件費(借地利)	0	0	0
	支出計(B)	340	327	423
行政コスト(B-A)		340	327	423
収支前年比		103.98	77.30	110.44
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,653	1,653	1,653
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	80	80	80
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	9,319	25,342	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	07-028	よしん第1・第2放課後児童会	生活		0.7	
	07-023	よしん第3放課後児童会	生活		0.7	
	07-078	よしん第4・第5放課後児童会	生活		0.8	
	07-069	おおせ放課後児童会	生活		1.3	
	07-080	ありたま・ありたま第2放課後児童会	生活		1.9	
その他の分類	15-036	与進北小学校	生活		0.0	
	03-033	長上協働センター	生活		0.2	
	03-085	小池会館	コミュニティ		0.6	
	08-030	与進幼稚園	生活		0.7	
	15-035	与進小学校	生活		0.7	
	14-043	浜松第21分団	コミュニティ		0.8	
	13-026	鷺の宮団地	地域		1.0	
	26-040	天王雨水ポンプ場	—		1.0	
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	07-024	施設コード	04974	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	与進北放課後児童会			所管課	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	保護者の就労形態の変化(共働き等)により、需要は高まっている							
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も需要は高い状況にあると見込まれる								
	特記事項	平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大								
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
						のべ募集人員	参加者数			
		事業①	放課後児童健全育成事業(与進北放課後児童会)	2023	—	—	—			
				2022	—	—	—			
				2021	—	—	—			
事業②		—	2023	—	—	—				
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
事業③		—	2023	—	—	—				
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
事業④		—	2023	—	—	—				
	2022		—	—	—					
	2021		—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民生活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	1,243	1,196	1,547	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	4,250	4,088	5,288	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(与進北小学校)								

リストNo		07-025	施設コード	04016		
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設				
施設名		積志ひまわり放課後児童会				
所在(町名・番地)		中央区積志町1497-1				
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域		
財産区分		行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当		課長名	鈴木 健一郎	
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課		課長名	横井 通文	
設置根拠(法)		児童福祉法				
条例		—				
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する				
主な利用者		昼間に保護者が対応できない小学生				
運営形態		施設包括管理委託				
指定管理または 包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～				
管理者名		株式会社明日葉				
開館時間		13:00 ～ 18:30				
建物情報	総延床面積	225.00	土地情報	土地面積	0.00	
	構造(主要建物)	鉄骨造		うち所有面積	0.00	
	地上階数(主要建物)	1				
	耐震性能(15値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	-		うち借地面積	0.00	
	建築年月日(主要建物)	2009/11/20				
	経過年数(主要建物)	14				
用途地域		市街化調整区域				
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計		
設置事業費		—	—	—		
財源	国・県	—	—	—		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
	一般財源	—	—	—		
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	42	42	31
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	501	594	484
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	543	636	515
	行政コスト(B－A)	543	636	515
収支前年比		85.38	123.50	112.94
(参考) 指定管理料		0	0	0
(参考) 減価償却費		1,400	1,400	1,400
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	80	80	80
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
	B S 情報	有形固定資産(千円)		
土地		建物	その他	
0		27,064	—	

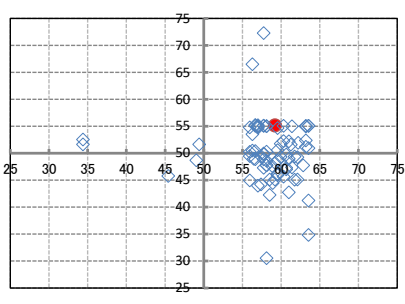
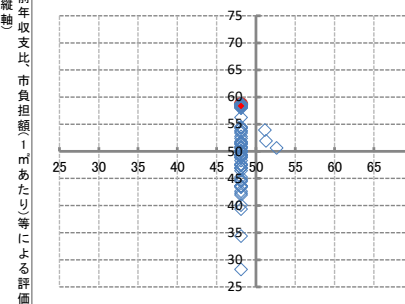
主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	07-080	ありたま・ありたま第2放課後児童会	生活	1.3
	07-021	なかごおり第2放課後児童会	生活	1.3
	07-069	おおせ放課後児童会	生活	1.6

その他の分類	15-029	積志小学校	生活	0.0
	08-011	積志保育園	生活	0.2
	15-112	積志中学校	生活	0.3
	06-006	積志図書館	地域	0.5
	03-035	積志協働センター	生活	0.5
	14-046	浜松第34分団	コミュニティ	0.7
	08-032	橋爪幼稚園	生活	1.1
	24-006	半田排水機場	—	1.1

施設周辺地図情報	

基本情報	リストNo	07-025	施設コード	04016	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当
	施設名	積志ひまわり放課後児童会			所管課	施設	子ども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する					
		主な利用者	昼間に保護者が対応できない小学生					
		設置目的の継続性・妥当性						
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、需要は高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後も需要は高い状況にあると見込まれる					
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
						のべ募集人員	参加者数	
		事業①	放課後児童健全育成事業(ひまわり第1放課後児童会)	2023	—	—	—	
				2022	—	—	—	
				2021	—	—	—	
事業②		放課後児童健全育成事業(ひまわり第2放課後児童会)	2023	—	—	—		
			2022	—	—	—		
			2021	—	—	—		
事業③	—	2023	—	—	—			
		2022	—	—	—			
事業④	—	2023	—	—	—			
		2022	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—						
	対応策	—						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
		統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	○	—			
	広域化	—	—	—	—			
民生活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。							

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	2,413	2,827	2,289	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	6,788	7,950	6,438
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
参考指標								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
参考指標	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。						
	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
個別方針	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(積志小学校)							

リストNo		07-026		施設コード		04299		
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設						
施設名		和田っ子放課後児童会						
所在(町名・番地)		中央区薬師町273-2						
利用者の圏域別分類等		生活			非中山間地域			
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設		
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			課長名	鈴木 健一郎		
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			課長名	横井 通文		
設置根拠(法)		児童福祉法						
条例		—						
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
主な利用者		昼間に保護者が対応できない小学生						
運営形態		施設包括管理委託						
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～						
管理者名		株式会社明日葉						
開館時間		13:00 ～ 18:30						
建物情報	総延床面積	211.84		土地情報	土地面積		0.00	
	構造(主要建物)	鉄骨造			うち所有面積	0.00		
	地上階数(主要建物)	2				うち借地面積	0.00	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新						
	耐震工事(主要建物)	-						
	建築年月日(主要建物)	2010/11/30			代表地目(現況地目)			
	経過年数(主要建物)	13						
用途地域		第一種住居地域						
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計		
設置事業費		—		—		—		
財源	国・県	—		—		—		
	寄付金	—		—		—		
	その他	—		—		—		
	市債	—		—		—		
	一般財源	—		—		—		
特記事項	—							



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	0	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	42	42	31
	維持補修費（修繕費）	0	65	31
	物件費（光熱水費）	465	572	499
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	507	679	561
行政コスト（B－A）		507	679	561
収支前年比		74.67	121.03	44.07
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		1,298	1,298	1,298
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	80	80	80
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	26,385	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2010	施設整備工事(建築工事)	35,883			
	2010	施設整備工事	7,371			
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	07-071	たけの子放課後児童会	生活		0.7	
	07-020	すぎの子第2放課後児童会	生活		1.2	
その他の分類	15-037	和田小学校	生活		0.0	
	08-031	和田幼稚園	生活		0.1	
	03-032	天竜協働センター	生活		0.5	
	15-114	天竜中学校	生活		0.6	
	14-009	東消防署	地域		0.6	
	14-042	浜松第20分団	コミュニティ		0.6	
	13-024	北島団地	地域		0.7	
	03-086	北島会館	コミュニティ		0.7	
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	07-026	施設コード	04299	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	和田っ子放課後児童会			所管課	施設	子ども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、需要は高まっている						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後も需要は高い状況にあると見込まれる							
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
						のべ募集人員	参加者数			
		事業①	放課後児童健全育成事業(和田っ子放課後児童会)	2023	—	—				
2022				—	—					
2021				—	—					
事業②		放課後児童健全育成事業(和田っ子第2放課後児童会)	2023	—	—					
			2022	—	—					
			2021	—	—					
事業③	—	2023	—	—						
		2022	—	—						
事業④	—	2023	—	—						
		2022	—	—						
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	2,393	3,205	2,648	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	6,338	8,488	7,013	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(和田小学校)								

リストNo		07-027		施設コード		04963		
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設						
施設名		ボプラの子放課後児童会						
所在(町名・番地)		中央区神立町5						
利用者の圏域別分類等		生活			非中山間地域			
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設		
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			課長名	鈴木 健一郎		
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			課長名	横井 通文		
設置根拠(法)		児童福祉法						
条例		—						
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
主な利用者		昼間に保護者が対応できない小学生						
運営形態		施設包括管理委託						
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～						
管理者名		株式会社明日葉						
開館時間		13:00 ～ 18:30						
建物情報	総延床面積	265.25		土地情報	土地面積		0.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			うち所有面積	0.00		
	地上階数(主要建物)	2				うち借地面積	0.00	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新						
	耐震工事(主要建物)	-						
	建築年月日(主要建物)	2015/2/27			代表地目(現況地目)			
	経過年数(主要建物)	9						
用途地域		第一種住居地域						
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計		
設置事業費		—		—		—		
財源	国・県	—		—		—		
	寄付金	—		—		—		
	その他	—		—		—		
	市債	—		—		—		
	一般財源	—		—		—		
特記事項	—							



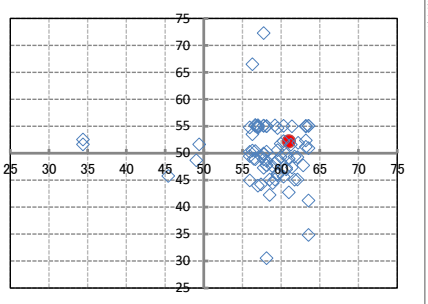
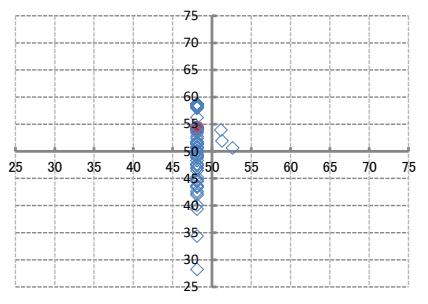
項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	65	188	0
	物件費(光熱水費)	115	160	112
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	180	348	112
行政コスト(B-A)		180	348	112
収支前年比		51.72	310.71	30.43
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,387	1,387	1,387
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	100	100	100
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	50,568	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
	No	施設名	圏域種別	距離(km)
同 分 類	07-075	さとう第2放課後児童会	生活	0.9
	07-008	さとう放課後児童会	生活	0.9
	07-016	ふなこし放課後児童会	生活	1.4
	07-011	若竹第2放課後児童会	生活	1.8
	07-039	いなほ放課後児童会	生活	1.9
そ の 他 の 分 類	15-028	蒲小学校	生活	0.0
	03-031	蒲協働センター	生活	0.6
	06-007	東図書館	地域	0.6
	14-041	浜松第14分団	コミュニティ	0.6
	05-003	浜松アリーナ	広域	0.8
	15-003	佐藤小学校	生活	0.9
	03-077	江東会館	コミュニティ	0.9
	09-003	保健環境研究所	市域	0.9

施設周辺地図情報

基本情報	リストNo	07-027	施設コード	04963	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	ポプラの子放課後児童会			所管課	施設	子ども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、需要は高まっている						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後も需要は高い状況にあると見込まれる							
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
						のべ募集人員	参加者数			
		事業①	放課後児童健全育成事業(ポプラの子第1放課後児童会)	2023	—	—	—			
				2022	—	—	—			
				2021	—	—	—			
事業②		放課後児童健全育成事業(ポプラの子第2放課後児童会)	2023	—	—	—				
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
事業③		—	2023	—	—	—				
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
事業④		—	2023	—	—	—				
	2022		—	—	—					
	2021		—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	679	1,312	422	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	1,800	3,480	1,120	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
（縦軸）利用状況、前年収支比率等による評価					（縦軸）前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	当面適切な維持管理に努める。※専用教室(蒲小学校)								